

**“自転車を通じた地域活性化”を標榜する
国内ロードレースリーグの運営会社 JCL に出資
～新たなサイクルロードレースリーグの2021シーズンタイトルスポンサーに決定～**

三菱地所株式会社はこの度、株式会社ジャパンサイクルリーグ（以下、JCL）が2021年2月22日付で実施した第三者割当増資を引き受け、資本業務提携に合意しました。本提携を以て、当社はJCLの資本パートナー及びJCLの新たなロードレースリーグであるジャパンサイクルリーグ（以下、新リーグ）の2021年シーズンタイトルスポンサーとなります。

JCLは、2021シーズンより始動する新リーグの運営会社です。新リーグは、主にホームタウンを持つ地域密着型チームが加盟しており、国際自転車競技連合加盟（UCI）の国内コンチネンタルチーム等で構成されています。地方創生をキーワードに、ホームチーム・自治体・JCLの3者連携による、魅力あるサイクルロードレースの全国各地での開催を目指しています。

当社は、「人を、想う力。街を、想う力。」というスローガンのもと、人々や世界への想いを胸に、地域社会と共にまちづくりにチャレンジしています。JCLでは、「自転車を通じた地域活性化及び地域課題解決への寄与」を理念のひとつとしており、当社はこれに強く共感しています。今後、JCLとの連携により、大会・イベント開催を通じたまちのソフト面の強化及び地域活性化への貢献を推進していきます。



▲「ジャパンサイクルリーグ」コンポジットロゴ

【ジャパンサイクルリーグ（新リーグ） コメント】

ジャパンサイクルリーグ（新リーグ）は、UCI 国際自転車競技連合に加盟している日本国籍コンチネンタルチーム及び地域密着型ロードレースチームで構成されている日本のロードレースリーグです。スタジアムスポーツでないサイクルロードレースは、“地域そのものがスタジアム”であり、あなたのまちへ興奮と感動を届けます。

更には、暮らしにも地球にもやさしい自転車の魅力を全国に発信し、Quality of Life の向上や地球環境改善に寄与する安心安全の自転車文化を根付かせていきます。

我々の目標は、世界レベルの選手を輩出し、ツール・ド・フランスで日本チームを表彰台に立たせることです。そのために、選手ファーストの精神でハイレベルかつ潤沢な競技機会を提供してまいりたいと考えております。加えて、エンターテインメント要素の導入により、自転車ファンを拡大させ、選手の報酬アップを達成し、より多くの若年層が、ロードレースのプロ選手を志す仕組みを作ってまいります。

■新リーグ 理念

1. 世界基準となるチームや選手の輩出
2. 世界が注目する新たなサイクルロードレースリーグの実現
3. 自転車を通じた地域活性化及び地域課題解決への寄与

【株式会社ジャパンサイクルリーグ 概要】

会社名：株式会社ジャパンサイクルリーグ

所在地：東京都港区赤坂八丁目5番40号ペガサス青山616

設立日：2020年8月7日

代表者：代表取締役社長 加藤 康則

事業内容：ロードレースリーグの運営、市民向けホビーロードレースの開催等

URL：<https://www.jcleague.jp/>

【参考 サイクルロードレースについて】

サイクルロードレースとは、競技用のロードバイク（自転車）に乗って、舗装路を走り順位を競うサイクルスポーツの種目の1つです。マラソンのようにゴール着順を競います。

レース結果は個人の着順が反映されますが、レースの戦略そのものはチーム単位で編成され、争われます。

それぞれのチームは優勝者を自分のチームから輩出すべく、状況に応じて戦術を組み立て、「捨て駒」になる選手の存在があつてこそ初めて優勝者が輝くことができる、ユニークなチームスポーツです。ヨーロッパをはじめ、アメリカ合衆国などでも盛んに行われており、ロードレースを通じた継続的な地域活性化が期待されるとして、近年、世界各地で自転車競技の誘致が行われています。